

平成 29 年度阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会
阿寒地域部会・摩周地域部会（第 1 回）（合同開催）

議事概要

1. 日 時：平成 29 年 6 月 30 日（金） 13:30～15:30
2. 場 所：弟子屈町社会老人福祉センター 大集会室
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

○環境省釧路自然環境事務所 所長 安田 直人 挨拶

本日はお忙しいところお越しいただき感謝。また、昨年末に皆様のご協力いただき、ステップアッププログラムを策定することができ、感謝申し上げます。それからすでに半年が経ったが、その間にいろいろ取り組みをされていると思うし、課題が明確になってきたところもあるのではないかと思います。本日はそれぞれの取組の進捗状況や、課題などについて情報を共有し、新たに今後の進め方を考えていきたい。忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければ。

なお、皆様ご存知のことと思うが、当省も組織強化し、今までの川湯自然保護官事務所が阿寒国立公園管理事務所となった。満喫プロジェクトを契機に、阿寒国立公園の管理運営をより積極的にやっっていこうということで、現在、元の川湯事務所に 5 名の職員が常駐している態勢になっており、阿寒湖も増強したところ。環境省でもしっかり取り組んでいこうと思っている。新しく阿寒国立公園管理事務所の所長として、河野が来ている。これから阿寒国立公園管理事務所が主体になって動いていくことになる。河野からひとことご挨拶申し上げます。

○環境省阿寒国立公園管理事務所 所長 河野 通治 挨拶

皆様には日頃よりご協力いただき感謝。阿寒国立公園管理事務所に来る前は本省国立公園課で国立公園満喫プロジェクトにスタートをする以前から携わっていたが、ここ阿寒国立公園はその中でも外国人にとって魅力の多い公園と思っており、注目度の高い国立公園。ぜひとも皆様とともに汗を流しながら、阿寒国立公園を世界水準のナショナルパークにできるよう、取り組んでまいりたい。本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

■議題

（1）阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正案について

○環境省から資料 1 に基づき説明。

※意見等なし

（2）阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会の開催予定について

○環境省から資料2に基づき説明。

※意見等なし

(3) 阿寒国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2020 の進捗状況及び今後の課題等について

○環境省から資料3-1、3-2、3-3に沿って説明。以下、各構成員より補足。

○補足事項

【釧路総合振興局 遠藤部長】

- ・釧路総合振興局管内における公園事業施設の改修工事は、阿寒湖畔第一駐車場、阿寒湖畔野営場、雌阿寒岳登山道線歩道（白湯山）、摩周第一園地公衆トイレ、裏摩周、砂湯野営場、の6件。老朽化した施設の改修工事による利便性向上を図るということで、公衆トイレの洋式化や、標識の多言語化などによるインバウンド受け入れ環境の整備等を計画している。
- ・具体的には、トイレ改修に合わせて自然情報を案内する施設を設けることや、野営場の管理棟の改修など管理面の充実など、利用者・管理者双方の視点に立って整備を進めることとしている。
- ・工事の実施時期は早くとも九月末以降。詳細日程については関係者と調整し進めてまいりたい。

【釧路総合振興局 産業振興部 朝倉部長】

- ・川湯温泉・硫黄山について補足したい。川湯温泉の観光振興を目的に摩周観光協会などと協力して街並みなどの景観改善などについて協議を重ねている。特に廃業した施設周辺など温泉街の景観について、関係者と実施の在り方を検討中。
- ・また、川湯温泉地区の観光関係事業者を主な対象として観光振興を検討するための講演会、温泉やアウトドア体験、地域の食などを組み合わせた健康増進を図るヘルスツーリズムのセミナーを29年2月に開催したところ。今年度もヘルスツーリズム拡大のための事業を実施予定。

【十勝総合振興局 環境生活課 清水課長】

- ・5月18日に足寄町と環境省と十勝総合振興局で事務局を務め、町民の方で構成される「オンネトーの魅力創造委員会」を立ち上げたところ。5月18日に第1回、6月18日に第2回を開催し、オンネトー周辺を巡ったところ。これから、見どころ、課題、整備しなければならない部分、売りや魅力の打ち出し方などを検討中。詳細はこれからの検討になるが、町民向けの発表会若しくはシンポジウムの開催も計画中であり、月1回、委員会を開催しながら計画を取りまとめていきたい。

【オホーツク総合振興局 環境生活課 森田課長】

- ・美幌峠園地の再整備について説明したい。平成 28 年 12 月 29 日から現地の実施設計、公衆トイレの改修の実施設計を発注。園地はかなり老朽化が進んでいるため、園路の全面的改修、危険防止のための防護柵の全面的な作り替え、傷んだ看板類の更新とともに外国語対応にしてサインの再編整備に取り組んでいく予定。トイレもかなり老朽化が進んでいるため、躯体などはそのまま活用する形で内容をほぼリニューアルし、今より個数を減らして一つ一つの面積を大きくする、またオストメイト対応にするなど、インバウンド増につなげていきたい。今年度中にすべての整備を終える予定。

【弟子屈町 観光振興係 守屋係長】

- ・ステップアッププログラムが策定されてから弟子屈町では官民一体となって協議を進めてきた。2 月から 5 月まで計 5 回の会議を行い、観光協会、川湯地域運営協会、町、さらには、えこまち推進協議会の皆さんを中心に、まず川湯の再整備計画を進めるための協議を進めてきた。
- ・これら整備には廃屋の撤去のほか、温泉街の散策路の整備、森の中の温泉街を目指すなどをコンセプトとして進めているが、まだまだ検討の余地があるというのが地域の実情。これを機に何とか整備に向けて頑張りたい。
- ・また、ガイド育成を積極的に進めており、年間 6 回のガイド育成講座を予定している。今後も地域として様々な取組を行いながら進めてまいりたい。

【釧路市 阿寒観光振興課 森主幹】

- ・街並み等の景観改善やフォレストガーデンの整備などの取組については、市単独ではなく、NPO 法人阿寒観光協会まちづくり推進機構と連携して進めている。
- ・ステップアッププログラムの項目ではないが、阿寒観光協会まちづくり推進機構とともに明日から釧路空港と阿寒湖畔を結ぶ空港連絡バスや、阿寒湖畔の夏のイベント「阿寒湖まわりも夏希灯」を、今年度さらにバージョンアップして実施予定。
- ・阿寒湖畔の魅力高めるための取り組みは、NPO やその他関係者の皆さんと一緒に進んでいく。

【阿寒観光協会まちづくり推進機構 山下専務理事】

- ・釧路市から説明のあった通りだが、運輸局の調査事業もあげていただき、空港環境整備協会から 8 割、釧路市 2 割の補助をいただき、エアポートライナーが明日から運行することとなった。満喫プロジェクトでインバンドを増やしていくため、FIT の足になる役割を果たすと思っている。引き続き安定運行に向けて進めていきたい。

【清里町 企画政策課 本松課長】

- ・今回の阿寒摩周国立公園の名称変更に伴い、神の子池も公園区域に編入されることとなっ

た。記載の通り裏摩周展望台から神の子池の区間のトレイルルートの現地調査をすでに行った。今後トレイルルート実現に向けて環境省や林野庁の協力もいただきながら、神の子池の国立公園内での知名度アップの観点も含め現実的に実施していきたい。

【北海道経済産業局 情報サービス政策課 高橋参事官】

- ・アクティビティ・自然・異文化体験で構成されるツーリズムであるアドベンチャーツーリズムは、欧米の富裕層を中心とした巨大なマーケットであると言われており、阿寒摩周国立公園や知床、釧路湿原などを有する道東エリアは、この市場獲得に適したエリアであると考えている。北海道経済産業局は今年度、この市場獲得のため鶴雅リゾート（株）を中核企業に据えたプロジェクトを進めており、年度内にマーケティング戦略を取りまとめる予定。なお、アドベンチャーツーリズムについては、北海道アドベンチャートラベル協議会（HATA）の設立など運輸局も色々な取り組みをされており、これらと連携して取り組んでいることを、この場を借りて報告したい。

【美幌観光物産協会 信太事務局長】

- ・美幌峠の雲海予測という情報発信システムが本日から導入された。日本気象協会と連携して気象予報士の公式見解を発信している。雲海がキラコンテツとしてニーズが高いということで、こういった試みを美幌町単独で行っているところ。雲海発生に関わらず、過去のデータと比較して、峠の天気を予測も併記している。PRに活かしていきたい。

○意見等の概要

【釧路市 阿寒観光振興課 秋葉課長】

- ・釧路市からは今後の課題と解決に向け、一つ提案をしたい。今後の満喫プロジェクト推進に当たりより緊密な連携によって取組を企画・推進していくために、改めて研究や協議を一体となって進めるような場を設けていただきたい。昨年7月に満喫プロジェクトの選定を受けて12月までの短期間でステップアッププログラムをまとめていることから、内容の詳細についてはまだまだ精査や俯瞰が必要と思料。2020年までは3年しかなく、スピードアップが必要。
- ・ソフト事業の取組に関する全体構想が来年2月に取りまとめられるのでは、予算編成に間に合わないのは自明。平成30年はこの実施計画とは別に予算が進むことになってしまい、1年間どうしていくのか、というのが課題になる。一方でこの協議会も今年度は残り2回、この中でできるのは進捗状況の確認と共有が主体にならざるを得ない。
- ・ナショナルパークとは何か、ソフト事業やハード整備の設えはどのようなものが求められるのか、まだまだ研究が必要なのではないか。11の市町にまたがる阿寒国立公園全体で共有してベクトルを合わせて国内外から評価される、顧客を獲得できる取組を実施すること必要なのではないかと思料、協議する場を設けていただきたい。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

- ・阿寒国立公園広域観光協議会が11市町集まった場としてあるので、当省も参加して情報交換や研究などを一緒にさせていただくのが一番いいのではと思料。全体構想については2月の取りまとめでは遅いという意見もあったが、随時情報共有して一緒になって作り上げていくものと考えている。

【環境省 釧路自然環境事務所 安田所長】

- ・今の段階でも十勝総合振興局が中心になって動いていたり、それぞれ、釧路市や弟子屈町のほうでもいろいろなところで動きがある。ステップアッププログラムというものはメニューをそろえた、というだけのものだと思っていて、具体的な実現に向けてまさにいろいろな協議をしなければならない。ステップアッププログラムでは主な実施主体も掲げている。そこが中心になって音頭を取っていただき、話し合う場をぜひ作っていただければ。
- ・もちろん当省のほうでも当省主体のところはやるし、あるいは必要があればほかのところでも参加して話をしたいと思うので、個別の事業については個別に話し合いの場が必要。

【釧路総合振興局 遠藤部長】

- ・ナショナルパークはどのようなものかということについては、例えば環境省のほうで全国8つ対象がある中でここではこう考えているというものがあれば、情報提供いただければ。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

- ・現在8つの国立公園がそれぞれ特徴的な取り組みを進めているところ。具体的にはホームページを参照していただければと思うが、有識者会議などで報告している資料もあるので、ぜひ改めて共有させていただければ。それぞれの公園によって独自性があると思料。阿寒国立公園としてどうしていくか、参考になるものを提供させていただきたい。

【環境省 釧路自然環境事務所 安田所長】

- ・先ほどの「国立公園の意味は」という話だが、皆さんご理解いただいていると思うが国を代表するような景観、風景ということで選ばれてきたもの。そのなかで特に利用と保全を図りつつどういう取組をしていくべきかということでステップアッププログラムができあがったので、まさにステップアッププログラムがこれからの方向性、というふうに考えている。その中で私が印象に残っているのは、国立公園というのは資源であって、そこを保全していくのが第一で、その中で持続的な利用を進めていこうという意見が出され、それを大前提としてできたものが今あるメニュー、ステップアッププログラムと理解している。ステップアッププログラムの中でも基本方針的なことが書かれていると思う。

【清里町 企画政策課 本松課長】

- ・各組織が予算を組んで事業を実施していると思うが、満喫プロジェクト全体の予算が見えていない。予算が見えないで事業だけが進捗している、という形で今後進むのか、あるいはとりまとめ等があるのか。

【環境省 釧路自然環境事務所 安田所長】

- ・ステップアッププログラムに書かれている、あるいは満喫プロジェクト自体であるが、事業についてはそれぞれが主体になって動いているので、それを全部網羅的に出していくのは難しいと考えている。環境省でいえば直轄の事業と道庁などを通じて市町村や道庁が交付金として使うものとあるが、直轄事業だけで平成 29 年度で阿寒だけで 7 億円くらい、そのくらいのお金が出ている。その他の事業については事業主体がそれぞれの部分を持っているので、全体予算を示すことは難しいと思っているところ。

【阿寒観光協会まちづくり推進機構 山下専務理事】

- ・満喫プロジェクトは目標の人数を 2 倍以上、と掲げている。観光立国ショーケースも同様だが、保全と利用促進の両方をどうやっていくかは、このナショナルパークの重要なところかと認識している。そういった中で、マリモの生育地の利用、光と音との演出で夜の森を歩くテーマパークの推進といったものをご理解いただきながら進めつつあるところ。今後ともお客様に魅力のあるナショナルパークとしてどう作り上げていくかということで、最終的には保全と利用促進との兼ね合いになっていくと思う。引き続きご支援いただければ。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

- ・国立公園は保護と利用のバランスをどうとっていくかが大きな課題。自然の魅力がなくなってしまえば元も子もないので、保全を大前提としながらより良い利用の方向も考えていく、そういった視点が大事かと思っている。

【足寄町 経済課 村石主査】

- ・オンネトー地区では事業者が少なく議論が進んできていなかったが、「オンネトーの魅力創造委員会」において、現地確認をしながら、施設の老朽化の問題や情報提供の問題などの課題の洗い出しをして、ナショナルパークは何ぞやということも含め、シンポジウムなどを開催して、町全体として考えていきたい。秋口くらいまでにある程度の方向性を見出して、ステップアッププログラム等に反映させていただきたいと考えている。その後ソフト事業のメニューに関しては、年度内にどのようなソフトの在り方がいいのか検討し、次年度のガイド育成などにつなげていきたいと考えている。
- ・すべてが町でできるというものでもないので、北海道や環境省、森林管理署など関係機関の支援等いただきながら、進めていきたい。

【あしよろ観光協会 伊藤事務局長】

- ・当会は数回、オンネトーをフィールドとしたイベントを展開しており、今後も満喫プロジェクトを意識し連携した事業展開を図っていきたい。

【摩周湖観光協会 中嶋会長】

- ・各事業が検討も含め徐々に具体化していく中で、着実に歩みがあると認識している。一方で 8 月上旬の名称変更や今後の整備も進む中で、キャッチーなものをその中に散りばめていきたいと思っているところ。何とか話題性を持てるようなネタを各 11 市町の中に散りばめる工夫も必要ではないか。
- ・例えば、摩周湖の湖面に降りることはできないが、また屈斜路湖の中島に渡ることはできないが、そういった常識からは「え、そうなの」というようなキャッチーなものを含めていきたいと思っているし、ナショナルパークは何ぞやというところも、我々にとってもその部分は未体験ゾーンであると思っている。果たして満喫プロジェクトが進んだ段階で外国の富裕層の皆さんが来ていただいて満足していただけるのか、と不安要素も大きく持っている。川湯温泉街は特に近隣温泉地に比べても 2 段 3 段の底上げが必要なので、当然我々の努力が第一になるが、環境省も含めて皆様のご支援をいただければ。

【きよさと観光協会 奥山事務局長】

- ・清里町の本松課長からお話があったが、裏摩周展望台から神の子池までのトレッキングのルートということで、今年に入って 3 月 15 日と 5 月 20 日にガイド数名で行っており、だいたい目途は立っているので、環境省や北海道、森林管理署の協力を得て、なるべく早くメニュー化したいと思っている。
- ・神の子池は今年から国立公園に仲間入りをするということで大変ありがたいが、できれば 2020 年までに神の子池周辺に観光客の利便性と環境保護の双方を踏まえた整備ということで、トイレを何とかしなければならぬと思っている。何とかプログラムの中で、表に出なくても裏のほうで何とかならないかと、交付金をいくらいただければ整備がしやすいと相談していたのだが、ぜひご検討いただければ。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

神の子池についても今後国立公園として保護と利用の両面で考えていく必要があるので、関係者交えてご相談・ご協議させていただければ。

【根釧西部森林管理署 竹下署長】

- ・国有林を活用する際には、林野庁としてもスピード感をもって対応したいので、早目のご相談をお願いしたい。
- ・津別峠が昨年台風の直撃を受け被災したが、山腹の治山工事を行っているので状況を説明

したい。災害復旧に係る治山工事は、すでに発注している。道道屈斜路津別線を管理する釧路総合振興局と連携を取りながらなんとか今年度中にと、一刻も早い開通に向けて努力をしているところ。

【釧路運輸支局 山崎主席運輸企画専門官】

- ・事務局から説明の通り北海道アドベンチャートラベル協議会を立ち上げ、北海道の関係者全体で結集して北海道全体を売り込んでいくプロモーションを展開予定。
- ・北海道運輸局としては、ビジット・ジャパン事業や広域観光周遊ルート事業など、阿寒国立公園というよりはもう少し広い「ひがし北海道」というエリアになるが、各エリアで様々な動きがあるので、情報共有をぜひお願いしたい。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

- ・うまく情報共有できるような体制ができればいいと思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

【北海道観光振興機構 地域支援事業部 石丸部長】

- ・機構の取り組みとしては、運輸局から説明のあった広域観光周遊ルート「ひがし北海道」に昨年度バスの実証運行の取組を行った。まさにインバウンドを対象に新千歳からウトロまでを北と南の2コースで周遊していただくという取組をしている。
- ・全体的なプロモーションとして国内海外に関わらず積極的に進めているので、引き続き連携して行っていきたい。
- ・機構の取組として、各地域の観光協会の取組に対して助成を行っている。基本的には二分の一補助だが、ステップアッププログラムの中の取組にもいくつか助成を行っている。今年でいえば全道72の事業に対して支援を行っている。各地で満喫プロジェクトに関わる新たな取組を考える場合には、こちらにお早めに相談いただければお手伝いしていきたい。

【釧路開発建設部 田澤次長】

- ・観光立国ということでは、クルーズ船の振興ということで、釧路港の東耐震ふ頭に寄港する船が年々増えており、現状は延べで20隻以上が寄っている。
- ・国立公園の訪日利用者数を見ていると、上から4番目の釧路湿原が、欧米系が比較的高い。推測だが、クルーズ船で立ち寄る観光客は欧米系が多くみられるので、釧路湿原、動物園までは足を延ばす方は多いのではないかと。阿寒と比べると10ポイントほど多いということで、より富裕層をとり込むということであれば、もう少し足を延ばしてもらってこちらにというような工夫をされるといいのではないかと。

- ・クルーズ船は今後ますます釧路港に立ち寄る機会が多くなると思うが、そういう連携も考えてみては。港湾、空港の整備も進めていきたいと思っているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

【環境省 阿寒国立公園管理事務所 河野所長】

- ・東北北海道は国立公園が 3 つあり、割と近い距離にまとまった資源があるということもあるので、うまく連携を図って、阿寒国立公園に来る人を増やしていきたい。
- ・本日いただいたご意見を基にステップアッププログラムの改定も含め、事務局のほうでも検討を深めさせていただきたい。

(4) その他

○環境省から資料 4-1 に基づき、公園内の看板類のデザインの統一について、「阿寒自然散策路整備マニュアル」を一つの基準として統一していくことを提案、協力を依頼。

※意見等なし

○環境省から資料 4-2、4-3 に基づき、国立公園別訪日外国人利用者数推計及び公園計画の一部変更について報告。また、名称変更に合わせて看板やパンフレットなどの順次改訂を依頼。

■開会

○北海道環境生活部環境局 自然公園グループ主幹 渡辺 一裕 挨拶

本日はステップアッププログラムの進捗状況及び今後の予定について情報共有と熱心な意見交換が交わされたが、皆様の取組の成果が目に見える形で現れてきていると思料。

公園内外のアクセス強化などの取組については、幅広い行政間の連携や企業などのアイデア、協力なども得ながら情報収集や調整が必要かと考えている。本道としても、2020 年には本道を訪れる外国人観光客を 500 万人に増やすことを目標に、観光部局を中心に様々な施策を展開しているところ。これらの取り組みと満喫プロジェクトが連動するように、庁内にワーキンググループを設置し取り組んでいる。また地域の長年の悲願である「阿寒摩周国立公園」への名称変更があることから、プロジェクトに一層の弾みがつくことと考えているところ。

環境省と連動し各種プロジェクトの磨き上げなどを行い、世界水準のナショナルパークを目指して、今後も取組を進めてまいりたいと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。